

2019年度活動報告

組込みシステム産業振興機構

2019年度 事業計画

1. 「組込み適塾」のブランド価値向上と活用促進

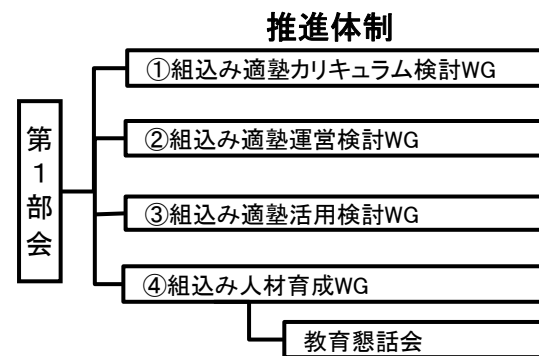
- (1) STEP5事業方針「十字型人材の輩出」を目指したカリキュラムの改善・拡充(①)
- (2) 組込み適塾の位置づけ・講座レベルの明確化と”お墨付き(顕彰・認証等)”取得(①、③)
- (3) 企業の人材育成への組込み適塾の積極活用とスキルアップの支援(②、③)

2. 自由で活発な交流の”場”の提供

- (1) 関係者/講師/受講生間の人的ネットワーク形成の支援(②)

3. 日本の組込みシステム産業発展への貢献

- (1) 「十字型人材の育成」に向けた組込み人材育成指針の策定(①、④)
- (2) 組込み適塾修了生の活躍状況の把握(④)



2019年度の実績

1. 「組込み適塾」のブランド価値向上と活用促進

【目標】総定員に対する充足率対前年5ポイント増。受講生満足度85%以上継続。組込み適塾活用ガイドの策定。お墨付きの取得。

【実績】受講者数減ながらも、一括受講増により対計画・対前年とも増収。定員充足率は4.6pt増。受講生満足度は87.3%。ガイド策定・お墨付き取得は未達。

- (1) 第12回適塾を無事終了。27講座・延べ43名のWGメンバーによる講座参観と受講生アンケートをもとに改善点を洗い出し次年度カリキュラムを策定。

受講者数:230名(前年比89%)、延べ受講講座数 766講座(前年比98%)。コース/科目一括受講増により、対計画・対前年とも増収。

定員充足率は59.6%(対前年4.6pt増)で計画にやや届かず。

受講生満足度は87.3%で指標導入以来3年連続で85%を越えた。

新規参加機関の比率は約20%で前年より減少。関西での参加機関数は増加したが、遠隔は減少。大口リピーター企業への依存傾向はやや弱まる。

- (2) iCDに基づきシステムアーキテクトと検証アーキテクトの必要タスク/スキル項目案を策定し、組込み適塾の一部講座についてレベルの明確化を試行。

IPA社会基盤センターに推薦いただき「情報化促進貢献個人等表彰」に応募したが受賞はならず。ETロボコン主催のJASA等が受賞。

- (3) 団体受講による定員超過緩和策として、講師派遣型出前講座の実施を検討(2020年度実施予定)。

組込み適塾キャリアガイド、組込み適塾活用ガイドの改善案を策定。

2. 自由で活発な交流の”場”の提供

【目標】交流会(8回)、講師会・地域交流会(各1回)。LMSでの受講生・講師の交流の場の提供。

【実績】受講生・講師・適塾関係者が自由闊達に議論し、組織の壁を越えて交流できる”場”を提供。LMSの掲示板を通じたコミュニケーションが活発に。

- (1) 入塾式・修了式後の交流会(各1回)、講師・受講生間の交流会(3回)、地域交流会(1回) 講師会(1回)を開催。

組込み適塾用LMSの質疑・交流用掲示板の活用が徐々に活発(前年比2倍超)に。活用講座数:6講座→14講座、投稿数:7スレッド→22スレッド。

3. 日本の組込みシステム産業発展への貢献

【目標】教育懇話会(3回)実施。修了生フォロー調査実施。

【実績】教育懇話会を3回開催。修了生フォロー調査については方法を検討したが、修了生個々への調査は取り止め、派遣元へのヒアリングを次年度実施。

- (1) 教育懇話会を通じて人材育成について意見交換:①名古屋大学enPiT-Pro Emb、②ダイキン情報技術大学、③IPA DX時代の組込み人材

- (2) 「十字型人材」に求められる能力へ適塾講座をマッピング。修了生フォロー調査について、評価尺度や方法を検討したが、修了生への調査は中止。

2019年度 事業計画

1. 戦略的展示会開催によるビジネス機会創出支援

- (1) 展示会の開催による会員企業のビジネス創出支援(①)
- (2) 戦略的な出展先(会員企業要望、重点4分野)選定による会員メリット向上(①)
- (3) 出展先企業のニーズ情報の事前取得などの効果的な展示会企画・運営の改善・確立によるマッチング精度向上(①)
- (4) 展示会への来場者・出展者評価の定量化による客観的な出展効果の見える化(①)

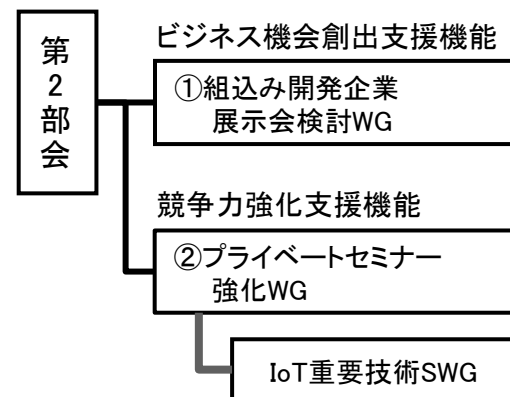
2. プライベートセミナーによる競争力強化支援

- (1) 会員に関心の高いテーマでプライベートセミナーを企画・開催し競争力強化を支援(②)
- (2) 展示会で高い評価を得た産総研講演者を招聘して実施(②)
- (3) 講師との懇談会を活用して、講師・会員、会員間の協創・課題解決につながる場の提供(②)

3. WINKと連携しオープンイノベーション創出の場を提供

- (1) 展示会を活用し、WINK受賞チームのサービス化を支援(①)
- (2) プライベートセミナーでのアイデアのブラッシュアップの場を提供(②)

推進体制



2019年度の実績

1. 戦略的展示会開催によるビジネス機会創出支援

【目標】 年間2回開催。 マッチング精度向上のための継続的な施策改善。 展示会の出展企業の成果の定量化、見える化。

【実績】 1回開催。 前日交流会を技術幹部との人脈形成の場に発展させ、出展企業メリット向上。 出展企業定点調査アンケートの設問を改善し、実施。

- (1) 第17回を川崎重工業 明石工場にて開催。 第18回は某自動車メーカーに打診し、調整を続けるも開催合意に至らず、1回開催に留まる。
- (2) 川崎重工業は、ロボット、環境・エネルギー、モータサイクル事業がESIP重点分野に関連。 第18回候補も重点分野モビリティから選出。
- (3) 展示先企業への依頼事項、優先順位を一覧表で提示し、事前見学説明会や前日交流会などへの技術幹部の出席調整を前倒しで実施いただけた。
- (4) 川崎重工業と60件の面談約束。 第14~16回の過去実績は商談9件、内・受注1件。出展企業は「長期的成果」、「人脈作り」に大きな期待(共に80%)。

2. プライベートセミナーによる競争力強化支援

【目標】 年間4回開催。 セミナー参加者数:平均30名。

【実績】 年間5回開催。 参加平均数は25名、延べ126名が参加。

- (1) 目標4回開催のところを5回開催。 会員の関心の高いテーマを中心に、AIが4回、ロボティクスが1回。
参加者の平均は25名。 広く知識が得られるテーマでは参加者が多く、専門的に深く技術を掘り下げるテーマでは少ない傾向。
- (2) 川崎重工業展示会で来場者から好評であった産総研講演(テーマ:AI)をプライベートセミナーで実施。 ESIP向けに内容を追加して講演いただいた。
- (3) 毎回講師を困らせた懇談会を実施。 参加者からは講演に関連した質問以外にも、自社事業での課題に関連した質問が多数あり、参加者から好評。
IoT重要技術SWGにて2つの勉強会を開催。「統合イノベーション戦略2019」勉強会は6名で3回開催、「令和2年度予算」勉強会は8名で2回開催。

3. WINKと連携しオープンイノベーション創出の場を提供

【目標】 WINKから生まれたアイデアのブラッシュアップとサービス化を支援する場の提供。

【実績】 過去受賞チーム、今年度参加チームに展示会、プライベートセミナーの場の活用の有無を企画広報部会に確認したが、応募チームは無かった。

- (1) WINK過去受賞チームに、川崎重工業展示会を発表の場として活用するかを企画広報部会に確認したが、応募チームは無かった。
- (2) プライベートセミナー強化WGにて、プライベートセミナーをアイデアブラッシュアップの場としての活用方法、打診方法、応募時の運営方法を規定した。

2019年度 事業計画

1. “WINK”コンテストを通じたオープンイノベーションの場の更なる充実
 - (1) 質の高いチーム誘導の積極的な推進
 - (2) サービス化に向けたアフターフォローの強化
2. 公的研究機関、独立行政法人、大学、経済団体等との連携による戦略的情報発信
 - (1) 外部団体との連携による各種セミナーや研究会を通じた最先端技術の情報発信
3. 地域間連携及び団体間連携による更なる活動基盤の強化
 - (1) 第9回全国組込み産業フォーラムによる東北地域との連携と団体間交流
4. 部会施策の広報支援やプロモーションによる機構のプレゼンス向上
 - (1) 機構主要施策のプロモーション継続と各種メディアを通じた情報発信
 - (2) 関連団体イベントへの共催・出展・後援などを通じた情報発信
 - (3) 広報機会の増加による研究会の活性化

2019年度の実績

1. “WINK”コンテストを通じたオープンイノベーションの場の更なる充実
 - 【目標】 応募チームの増大と1次選抜の実現(9チーム以上)、過去受賞チームを含めたサービス化支援3件以上
 - 【実績】 応募チームの増大(昨年度8チーム⇒9チーム)と1次選抜制度の整備、サービス化支援7件
 - (1) 募集イベント、大学等へのPR、部会等を通じた会員企業への早期周知、事前研修PRによる参加者メリットの訴求により9チームを確保。1次選抜制度の整備(運営可能との判断から今年度は全チームをコンテストに参加させた)。
 - (2) 過去受賞チームへの支援制度・会員企業紹介、ナレッジイノベーションアワードエントリー [7件]
2. 公的研究機関、独立行政法人、大学、経済団体等との連携による戦略的情報発信
 - 【目標】 外部団体と共催等によるセミナー・研究会の実施[3件]
 - 【実績】 セミナー・研究会[4件]
 - (1) セミナー: NICT、産総研と連携(WINK関係)、宮城県他と連携(全国組込み産業フォーラム) [3件]
 - 研究会: 関経連・近経局と連携(万博を通じたスマートシティ研究会) [1件]
3. 地域間連携及び団体間連携による更なる活動基盤の強化
 - 【目標】 第9回全国組込み産業フォーラムの開催と既存連携団体との関係強化、新規連携団体の拡充
 - 【実績】 既存団体との関係強化と新規連携団体の拡充(既存団体との交流に加えて新たに広島県商工労働局との関係を構築)
 - (1) 組込み関連7団体、産総研、経産省等の既存連携団体との関係強化、新規連携先としての広島県商工労働局との関係構築
4. 部会施策の広報支援やプロモーションによる機構のプレゼンス向上
 - 【目標】 各施策での記事掲載[3件]、外部イベントでの情報発信[3件]、研究活動の情報発信[4件]
 - 【実績】 各施策での記事掲載[8件]、外部イベントでの情報発信[4件]、研究活動の情報発信[4件]
 - (1) 新聞: 総会、WINK、全国組込み産業フォーラム [5件]、関経連機関紙: 組込み開発企業展示会他 [2件]、産業能率: 機構活動全般 [1件]
 - (2) WINK宣伝: オープンイノベーションセミナー、機構施策紹介: 全国組込み産業フォーラム、適塾資料配架: ASIFフォーラム他 [4件]
 - (3) 部会にて活動状況を発信、有識者を招聘しての中間報告会、HPへの活動状況掲載 [4件]